

「学力向上ポートフォリオ(小学校版)」

学力向上目標

全ての児童に対して、

○基礎的・基本的な学習の繰り返し、知識・技能を確実に習得させる。

- ・2～6年で習得すべき漢字の読み書きができる。(漢字テスト(小テスト含む)で、7割以上にする。)1～6年生で、たし算、ひき算、かけ算、わり算ができる。(算数テストで7割以上にする。)

○思考力・判断力・表現力を高める。

- ・さいたま市学習状況調査の国語、算数「思考力、判断力、表現力」で令和元年度より、向上させる。

○主体的に学習に取り組む態度を育成する。

- ・さいたま市学習状況調査【学習に関する関心・意欲・態度】における「(国語・算数)は好きですか」では、肯定的な回答の割合を令和元年度より向上させる。

具体的な手立て

- ① 授業の開始時や終了時に習熟の時間をつくり、漢字練習や計算練習に取り組む時間をつくる(ドリルパーク等の活用)。
- ② 児童も教師も学びの履歴がわかるように、学習内容を理解し、学習の進め方を自ら調整していくことができるように個に応じた支援を行う(OPPAシートの活用等)。
- ③ 「真の学力」をめざして、「さいたま市『アクティブ・ラーニング』型授業」を展開する。
- ④ ミライシード(オクリンク、ムーブノート)を活用して、協働的な学びを進める。
- ⑤ 全職員が研究授業を一回取り組み指導力を向上させる。

結果

今年度の振り返り・次年度に向けて